



## 家族になりました

### 養子縁組里親さん体験談

#### 里親登録のきっかけ

テレビで「家庭で暮らせない子どもがいる」ということを知ったときに、何か自分達にできることがあればと思ったのがきっかけでした。夫婦で話し合い、里親になろうと決めてからは児童相談所に連絡して、研修を受け、養子縁組里親と、養育里親の両方に登録しました。

#### 初めての委託は一時預かり

委託のお話しはいつになるかわからないけど、受け入れ態勢は整えておこうと思って、家の片づけをしたりしていました。すると突然、児童相談所から小学生の姉妹を数日間預かってもらえないかと連絡が来ました。「大丈夫だろうか」と不安もありましたが、「親御さんが困っているなら・・・」と思い、受け入れることにしました。

迎えに行った帰りの車内では一言も話さなかった姉妹が、家に着く頃にはぽつりぽつりと話しをしてくれるようになりました。毎日学校へ送迎し、夕方や休日は公園で一緒に遊んだりして過ごし、あっという間に帰る日になりました。

一緒に過ごした期間は10日間でしたが、1時間泣いてのお別れでした。姉妹につられてこちらでも泣きそうになりましたが「お別れは笑顔で」と決めていたので、何とかこらえて笑顔でバイバイしました。姉妹は最後まで涙でした。とても貴重な経験となりました。



#### 2度目の委託は特別養子縁組

一時預かりの姉妹が家庭復帰した後、突然また児童相談所から連絡がきました。生後8ヵ月で、養子縁組を希望する男の子とのことでした。私たちは登録から3年程経った頃でした。

#### 子どもとのマッチング

受け入れを決めてから、子どもが生活している乳児院に会いに行きました。「子どもが受け入れてくれなかったらどうしよう」と不安な気持ちもありましたが、子どもの姿を目にすると一瞬で「かわいい」「家族になりたい」という思いに変わりました。



それから、何度も乳児院での面会に通いました。彼は人見知り真っ只中で、

しばらくは職員さんから離れることができずに号泣。私たちは、職員さんから励ましてもらう日々でした。そんな中で夫が「アンパンマンのエプロンをつけてみよう」と言い出したことがありました。私は「そんなことで子どもの気持ち変わるの?」と半信半疑に思っていたのですが、実際につけて会いに行くと、アンパンマンに興味を示し、夫に笑顔を向けてくれたのです。私もすぐに買いました(笑)



マッチングの期間中に感染症が流行する等で、会えない期間もありました。そんな時でも「今どうしているかな?」と毎日彼のことが頭に浮かびました。



### マッチングから我が家へ

委託の日が決まってからは、本格的に受け入れ準備を整え、いざ、彼との生活が始まりました。家に迎えたときには彼は1歳2ヵ月でした。

初めての我が家でのごはんは緊張した面持ちで食べ、夜は私に背を向けて寝ました。朝起きると「ぼくはなんでここにいるの?」という表情でした。まだ自分の思いを言葉にすることができず、泣くことでしか意思を伝えられない彼が、少しでも安心できるように見守るようにしました。すると、我が家に来てから1週間ほど経った頃から、ひたすら抱っこを求めるようになりました。

そして、試し行動なのでしょうか、抱っこをしながら電気のスイッチをひたすらパチパチ押ししたり、電子レンジの扉を何度も何度も開け閉めしたり、全力でイヤイヤ泣き叫んで叩いたり、つきっきりでいるとヘトヘトになる毎日でした。夫婦で悩みながらも、児童相談所や乳児院に相談しながら乗りきりました。



### 現在

彼が我が家に来て数年たち、成長と共にできることも増えました。とんでもない行動にハラハラすることや、同じものを見て笑い合うこと、こんな日常の繰り返しで家族になるんだなと実感しています。



これから彼に真実告知をする中で、実母さんからの名前の由来や、乳児院で愛されていたこと、我が家に来てからのこと等をしっかり伝えると共に、彼の考えもしっかり聞き、これからも彼を信じて成長を見守りたいと思っています。